

田村病院ニュース 秋号

発刊：令和元年10月31日



当院における災害対策について

近年、日本では、地震や台風、大洪水など多くの災害が頻発しています。当院でも防災対策として、保存食品や水（3日以上）、医薬品（1か月分以上）の備蓄保管を行っています。

また当院は、日本精神科病院協会和歌山県支部の「災害時支援中心病院」に指定されています。災害時にも、入院患者さまやデイケアの利用者さまが、安全に安心して医療を受けられるよう、引き続き、災害研修や、避難訓練をおこなってまいります。



災害用備蓄の例

精神科デイケアについて

デイケアは、精神科外来における日中の通所リハビリテーションです。活動の目的は、精神症状の悪化の早期発見や再発予防、家族以外との交流の場、社会復帰への足掛かりとしての役割を担っています。

まずは、決まった時間にデイケアへ参加することが大切

です。規則正しい生活は、こころの病気に関わらず、すべての健康の基礎になります。

当院のデイケアプログラムは、コミュニケーション講座や、お困りごと相談（社会福祉制度の説明、郵便局・銀行などの社会的な手続きの援助）など利用者さまの生活に身近に役立つものから、ヨガや回想法、認知行動療法など精神科治療に重点を置いたものまで、曜日ごとにプログラムを変えて行っています。

最近では、他のクリニックや病院から、デイケアを紹介され、参加される利用者の方も増えています。見学や参加曜日の相談など、詳しくは当院スタッフまでお気軽にご相談ください。





10月のデイケア入口 



プログラムの様子

当院デイケアは精神科自立支援医療の対象です。
また利用には、医師の指示が必要となり、外来診察を受けて頂く必要があります。



月別プログラムは、当院ホームページをご覧ください。
「田村病院」で検索 → 「デイケア」のバナーをクリック



藤原先生が、日本精神保健福祉連盟会長表彰を受賞され
植村看護師が、和歌山県精神保健福祉協会永年勤務功労を表彰されました！！



編集部より

病院では、来年度に迫った病院機能評価機構の再認定に向け、委員会が発足しました。近年の大きな課題は「チーム医療」です。これまでの医師がすべてを担う医療から、看護師、作業療法士、公認心理士、薬剤師といった多職種が連携し精神科医療を行うようになっていきます。また精神保健福祉士が病院医事課と連携して、社会福祉制度・援助のお手伝いを行います。どこをどの職種が担うのか、おのこの役割や業務の線引き、連携の方法など、課題は沢山ありますが、この機会によく考えてみたいと思っています。



※病院ニュース画像は、3病棟の作業療法製作です。